



1. 2019年度、展覧会のために制作された作品「つなぐ」。現在はつなぎ文化センターに展示／2. 3. 旧赤崎小学校で植樹祭。皆さんが家庭で育ててくださったハーブを植えた。秋には作品の一部となってお披露目

津奈木の日常を描きたい—

住民参画型アートプロジェクト業務
大平 由香理 さん (大泊)



アートで人と人をつなぐ
きっかけにしたい

2019年度のつなぎ美術館での滞在制作事業をきっかけに津奈木町へ移住し、まもなく1年が過ぎようとしています。もともとアートによるまちづくりに力をいれていた大分県別府市を長年拠点とし、各地での滞在制作や作品発表を続けながら、近年は大分県の芸術文化振興委員として移住者であり制作者としての立場から中・長期的な計画構想に関わってきました。

現在は主に美術館での運営サポートを行いながら、作品制作を続けています。今年度はつなぎ美術館20周年となり、館内だけにとどまらず活動は多岐に渡っています。中でも20周年を記念し、現代美術家の柳幸典氏が2021年秋の作品公開を目指して住民参画により進めている「柳幸典つなぎプロジェクト」を中心に運営業務を担当しています。県外のアーティスト、町内外の関係各所、植物育成へご協力いただけるたくさんの方々と連携をとりながら作品公開に向けて準備をしています。

日常風景の中にある 芸術を探求

個人の活動としては、7月の豪雨災害で被害を受けた芦北町にあるデイサービスセンターに併設させる図書館作りに関わってきました。近隣の小学校へ月に2回、約半年間携わり壁画制作や絵本作りなどを行いました。また、水俣・芦北地域の美術教員向けの技法講習講師を担当したり、外部から委託されたワークショップ体験型の町内まち歩きツアーも9月から定期運営できるよう準備中です。多くの公共彫刻が町の中にある、美しい風景を身近に感じる津奈木町で「日常風景の中にある芸術」を探求しています。他にも、津奈木町の風景を題材とした絵画を全国各地で定期的に発表しています。作品を通して町の魅力を伝え、アートによるまちづくりへの担い手の1人になりたいと思っています。私の活動の様子はつなぎ美術館で年に1度、成果発表展を予定していますので、ぜひ足をお運びください。

以前は美術館の招聘作家として町に滞在していましたが、町民として活動させていただけることがとても嬉しく、誇りを感じています。コロナ禍でまだまだ顔をあわせる機会も限られているため、ごあいさつが充分に行き届いていないかと思いますが、これからも誠心誠意頑張りますので今後ともよろしく願います。



4. 小学校での授業。半年ほど子どもたちと一緒に図書館作りを行った／5. 図書館の壁画制作。デイサービス利用者、職員、子どもたちにも壁画に手形を押しもらった／6. 水俣・芦北地域美術教員向け日本画技法講習／7. 美術雑誌、山岳雑誌、旅行誌などの掲載誌と個展の案内状など

